

# 15年間の主な出来事

●問い合わせ先 企画課 ☎248-1813

- H18.02 (2006) 03 合志市誕生
- H19.01 (2007) 合志小学校 新校舎完成
- H20.11 (2008) 西合志中学校 新校舎完成
- H22.02 (2010) バンクーバー冬季オリンピックに本市出身の藤本貴大選手が出場
- 04 自治基本条例の制定
- 10 コミュニティバス運行本格開始
- 12 人口 55,555人突破
- H23.05 (2011) 合併5周年記念  
・合志市音頭完成  
・NHKのど自慢  
合志市総合体育館メインアリーナにて開催
- 市議会議員定数削減(24人→21人)
- H24.02 (2012) 菊池恵楓園将来構想に基づき園内に「かえでの森こども園」開所
- 07 九州北部豪雨被害
- H25.02 (2013) 10 須屋支所が須屋市民センター内に移転
- 天皇皇后両陛下  
農業研究センターと菊池恵楓園を訪問
- H26.03 (2014) 郷土の歴史マンガ  
『カタルパの樹～合志義塾ものがたり～』完成
- H27.04 (2015) 『カタルパの樹』熊日出版文化賞受賞
- こうし未来研究所設立
- 05 市議会議員定数削減(21人→19人)
- 06 住みよさランキング2015(九州・沖縄) 2年連続1位
- 09 谷山佳菜子さんが市ふるさと大使 第1号に決定

- H28.02 (2016) クラッシーノマルシェ オープン
- 03 人口 60,000人突破
- 04 熊本地震(4/14 合志市竹迫 震度5強)  
(4/16 合志市竹迫 震度6強)
- 05 竹迫地区の一部(約65ha)を市街化区域に編入
- 07 竹迫土地区画整理事業(アンビー熊本)着手
- H29.06 (2017) 住みよさランキング2017(九州・沖縄) 1位
- 07 合志マンガミュージアム オープン
- 07 平成29年7月九州北部豪雨
- H30.04 (2018) 熊本北合志警察署 新設
- 05 分庁方式から庁舎一本化
- 08 御代志地区の一部(約49ha)を市街化区域に編入
- 11 アンビー熊本 オープン
- 12 大津植木線辻久保バイパス一部区間開通
- H31.03 (2019) 北熊本スマートインターチェンジ供用開始
- R1.06 住みよさランキング2019(九州・沖縄) 1位
- 06 合併後 人口増加 10,000人突破
- 11 九州経済産業局との連携強化の合意(九州初)
- 12 ルーロ合志 オープン
- R2.03 (2020) 中九州横断道路  
大津熊本道路(合志～熊本)の事業化決定
- 04 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言 発令
- 06 住みよさランキング2020(九州・沖縄) 2年連続1位
- 09 川崎フロンターレとの協定を締結
- R3.03 (2021) 栄第2工業団地造成完了
- 04 合志楓の森小学校・合志楓の森中学校開校
- 04 菊池環境工場 クリーンの森合志供用開始
- R4. 春 (2022) 新御代志駅開業(予定)

## 特集 市制施行15周年

# 健康幸福都市 次の時代へ 向けて



### 全国有数の人口が伸びるまち

本市は、2月27日に合併15周年を迎えます。これまでさまざまな社会変化と向き合いながら、全ての市民の皆さんが、健康で穏やかに、安全かつ安心して暮らせるまちづくりを目指して進めてきました。

合併当初、52、516人だった人口も現在では63、033人(令和2年12月末現在)と1万人以上増加し、全国的に人口減少・少子高齢化が深刻化する中で、本市は人口が増加している数少ない自治体です。しかしながら、人口が増えることによって生じる課題もあります。増え続ける児童生徒の教育環境の充実を図るため、小学校・中学校の新設、放課後児童クラブの増設などの教育施設整備に多額の財政投資が必要です。

地勢的には熊本市を中心とする熊本都市圏に含まれておりますが、本市の9割近くは市街化を抑制する市街化調整区域となります。この区域では建築用途に規制があり、商業施設の建築が難しいことから店舗が少なく、市民の消費行動は市外へ向かい、せつかくの人口増加も地元経済への波及効果は少ない状況となっております。

### 本市がこれからも発展し、質の高い

市民サービスを続けるためには、地元で雇用を創出し、経済の好循環を生み出す都市基盤の形成により、財政力を強化する必要があると考えました。そこで、平成24年に重点区域土地利用計画を定め、国や県の協力のもと、平成28年に杉並台団地北側から県道大津西合志線までの「竹迫地区」を市街化区域に編入。翌29年には大規模商業施設「アンビー熊本」がオープンし、利便性向上の一助になっていると考えています。平成30年には国道387号沿いの黒石団地北側から御代志駅までの「御代志地区」についても、区画整理事業を実施し、市街化区域に編入することができました。御代志駅周辺の市街地開発事業では、市民の憩いと交流の場となるサードプレイスとして整備し、

”市の顔”となる場所を創っていきます。平成31年3月には、合併以来の念願であった北熊本スマートインターチェンジが開通し、観光や物流に利用されています。令和元年12月には新たな雇用と産業の場を創出するため、元西合志庁舎を「ルーロ合志」と改め、健康づくり、創業の拠点、そして”稼げる市”の具現化を目指しています。

令和2年には熊本県と大分県を結ぶ中九州横断道路(合志～熊本)が事業化され、全線開通に向けて大きく前進しました。このように、交通の利便性向上、地域経済の活性化、さらには、将来起きるとされる南海トラフ地震などの大規模災害時における対応力強化に向けて、国・県と力を合わせて引き続き鋭意取り組んでいきます。

### 健康幸福都市こうしの実現

ありがたいことに、本市は、東洋経済新報社による住みよさランキング2020九州・沖縄ブロック部門で、2年連続第1位を獲得しました。調査対象である全国812市区中でも25位となり、全国の中でも注目される都市となっています。

本市では、これから多様化する社会の中で、全ての市民の皆さんが、健康で幸福に暮らすことができるまち「健康幸福都市こうし」を目指してまいります。どうぞ市民の皆さんのご理解とご協力をよろしく願います。